

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|---|--|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | - | - |
| | | 商店街（代表者） | ・商店街の集客の核となる百貨店の改装効果が9月より現れており、この傾向はしばらく継続する。 |
| | | スーパー（店長） | ・11月に売場の改装を行うため、売上の増加に結びつくことが期待される。 |
| | | 家電量販店（店長） | ・歳末商戦に突入することに加えて、デジタル家電が好調である。 |
| | 変わらない | 乗用車販売店（役員） | ・車両受注の傾向が上向きに転じてきている。 |
| | | 商店街（代表者） | ・年末から新春にかけてのバーゲン時期であるが、最近のバーゲンは長続きせず、単価が一気に低下する商品もあるので、総合すると売上は変わらないのではないと思われる。 |
| | | 一般小売店〔酒〕（経営者） | ・下支えはあるものの、なかなか売上の増加には結びついていかないものと思われる。 |
| | | 百貨店（売場主任） | ・10月末より冬物商戦が開始されているが、景気低迷の前年と同じ状況であり、すでに12月のクリアランス時期に買上げようとする客の声が聞かれる。 |
| | | スーパー（店長） | ・現状の客の動向からみても、買上点数や単価の落ち込みが依然として止まっていないことに加えて、今後ボーナスの支給率のダウンなども予測されるため、先行きに明るい見通しは立てられない。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・客は安い商品に動いており、年末の予約商品など、単価の高い商品に期待できない。 |
| | | 衣料品専門店（店員） | ・高額な衣類の買い渋り等はこれからも続くと思われる。客の様子をみると、高額の商品の買物には特に慎重になっている様子が見受けられる。 |
| | | 家電量販店（地区統括部長） | ・現在は順調であるが農作物の不作、十勝沖地震の影響は消費者マインドを間違いなく冷えさせている。購買を喚起させる積極的な販促提案がないと、今後の売上増加は難しいと思われる。 |
| | | その他専門店〔医薬品〕（経営者） | ・医療費も高騰しそうななか、今こそ健康への啓蒙を高めていく店頭努力が必要であるが、一方で庶民の薬局、病院離れが加速しそうであり、現状からの売上アップは期待薄である。 |
| | | 高級レストラン（スタッフ） | ・地域経済の好転がみられず、客も来店する意欲に陰りがある。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・良くなってきているとは思いますが、好転するまでには、まだ半年はかかると思われる。それも、年末にSARSなどの問題がなければの話である。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・海外旅行は復調する要因を探すのは困難である。また、国内旅行は現状を維持するのが精一杯だと思われる。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・十勝沖地震や台風10号の影響で、道内への観光客が減少しており、観光業界は厳しい年末になりそうだ。復活しかけた海外旅行もSARSの再発が危惧されており、先行き不安は残るため、景気の上昇傾向は期待できない。 |
| | | タクシー運転手 | ・これからは業界の輸送繁忙期に入るので売上全体は伸びるが、ここ数か月前年比はマイナスで推移しているので楽観はできない。 |
| | | 通信会社（企画担当） | ・景気を呼び覚ますような動きが感じられないが、携帯電話にすれば、他社の製品を含めて新機種が目白押しであり、販売量の増加が期待できる。 |
| | | 観光名所（役員） | ・ロープウェイ、レストランとも予約状況はおおむね前年並みである。 |
| 美容室（経営者） | ・家計の支出が固定化してきており、これからの年末商戦といっても大きな変動はないように思われる。 | | |
| 美容室（経営者） | ・国全体が不景気で先の見通しがつかないことから、客はできるだけ金を使わなくなっている。嗜好品に関しても同様に必要以外の商品はあまり買わないと思われる。 | | |
| やや悪くなる | 百貨店（売場主任） | ・ボーナスの出ない企業もあるということであり、高額品の動きが非常に厳しくなると思われる。また、単価も低下していることが気になる。 | |
| | スーパー（店長） | ・特に良くなる要因は見当たらず、むしろ購買については、単価の低下あるいは必要な商品しか購入しないという買上点数の低下というものが予想される。 | |

| | | | |
|--------|------------------------|---|--|
| | | スーパー（店長） | ・前月と比べて販売点数が10%以上減少しているなど、販売点数が大きく落ち込んできている。 |
| | | スーパー（企画担当） | ・同業各社の中間決算の業績の悪化や、最近の各社の折込チラシによる価格競争の激化が、もう一段の状況の悪さを予感させる。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・公共工事が2割減少になっており、その影響が年末にかけてより一層増してくると思われる。来客数より客単価の減少に大きく響いてくると思われる。 |
| | | コンビニ（店長） | ・今の状態が完全に下げ止まったと言い切れない。毎日、弁当を買っていた常連客が、最近は弁当を持参しているという話も多い。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・年輩の客が多いが、客との話のなかで将来の年金の心配をしている人がとても多く、来年度の年金改正など、いろいろなことを心配しているの、見通しは明るくない。 |
| | | 住関連専門店（営業担当） | ・10月の気温低下で季節商品の売上が前倒しとなったおそれがあり、今後の売上の推移が心配である。 |
| | | 高級レストラン（スタッフ） | ・極端な外食控えが続いているので、12月だけはやや好転するだろうと楽観している。しかし、1月以降はその反動で現在より悪くなるのではと心配している。 |
| | | 観光型ホテル（経営者） | ・宿泊料が安いからといって、地元客の利用は増える訳ではない。選挙報道のなかで、景気高揚の政策は抽象的すぎて、先行き不安感だけが明らかにされているように思われる。今後も消費者は家にこもることは必至と見込まれる。 |
| | 悪くなる | 一般小売店〔土産〕（店員） | ・十勝沖地震などの影響によって、団体客が減少しているなか、冬にかけても客がかなり減ってくるのではないかとと思われる。 |
| | | スーパー（店長） | ・主力の食品部門の来客数はやや回復しているものの、単価の下落が続いており、今後も売上は前年を10%以上下回る状況が予想される。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・客の買物の様子から判断すると、買う個数が減る傾向にあり、単価も低くなっている。こうした状況はここ3か月続いており、これから先、もっと進むと予想している。 |
| | | 住宅販売会社（従業員） | ・住宅を建てる見込み客が増える要素がほとんどない。 |
| 企業動向関連 | 良くなる | - | - |
| | やや良くなる | 食料品製造業（経営者） | ・水産物最大の需要期である、年末ギフトの時期を迎える。いまだ弱い景気回復感ではあるが、一般家庭への贈り物件数と単価はほとんど変わっておらず、また、消費者の本物志向が一層進んでおり、品質や安全性を重視した、産地直送食品へのシフトが進んでいる。 |
| | | 輸送業（営業担当） | ・農産物は砂糖・でん粉が、輸出品においては紙パルプの荷動きが良くなる見通しである。 |
| | | 通信業（営業担当） | ・回線需要に回復がみられると同時に、上位価格帯のサービスへの需要増加が出てきた。ただし、感じとして好調な需要層とそうでない需要層との差が広がってきた印象を受けるので、全くの楽観視はできない側面も感じる。 |
| | | 通信業（営業担当） | ・投資意欲は出てきたように感じるが、実行されるかどうかは分からないので、やや良くなる程度だと思われる。 |
| | | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | ・台風10号関連、十勝沖地震関連の災害工事の本格的な発注が始まると思われるので、やや良い方向に行く。 |
| | | その他非製造業〔機械卸売〕（従業員） | ・小規模のガソリンスタンドの廃業が目立つ一方、大型化、セルフ化が進行し、新設や改修による大型地下埋設タンクの製作者、配管業者は来年まで仕事を抱えている。 |
| | 変わらない | 輸送業（支店長） | ・農産物の不作の影響や消費不況などの要因もあるが、輸入貨物が底堅いこともあり、大きな変化はないと思われる。 |
| | 金融業（企画担当） | ・冷夏による農作物の不作に加え、台風・地震などの自然災害が重なり、消費マインドの停滞が懸念される。 | |
| | その他サービス業〔システムハウス〕（経営者） | ・いろいろと案件は出てきつつあるが、なかなか確定しない状況である。 | |
| | やや悪くなる | - | - |
| | 悪くなる | 建設業（経営者） | ・冬季における新規の受注が官・民ともほとんど見込めない。工事中の物件も完成するため、稼働量が落ち込む。 |
| 雇用関連 | 良くなる | - | - |
| | やや良くなる | - | - |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | ・求人数が増えている業種もあるが、減少している業種もあり、総体的に考えると変わらない。 |

| | | |
|--------|--------------------|---|
| | 求人情報誌製作会社 (編集者) | ・求人数は前年比で伸びているが、内容は、小売系の札幌駅周辺の動きが落ち着き、その分を道外や道内の製造業、アウトソーシング系の業務がカバーしている。それ以外の業種では、医療系がやや伸びている程度であり、このまま加速的に伸びるとは考えにくい。 |
| | 求人情報誌製作会社 (編集者) | ・求人広告件数の増加はみられるが、業種や職種に顕著な偏りがあり、まだ不確実性が高いと思われる。 |
| | 職業安定所(職員) | ・求人数から、建設業および建設関連企業の業績不振がみられる。 |
| | 職業安定所(職員) | ・求人数が増加したものの、その要因は臨時・パート社員の求人増によるものとなっている。 |
| やや悪くなる | 求人情報誌製作会社 (編集者) | ・11～12月の2か月間に関しては求人動向が減少傾向にあるが、逆に1～3月に向けては増加傾向にあるので、総合的に3か月サイクルでみた景気動向では若干悪くなる見通しではないかと思われる。 |
| 悪くなる | - | - |